

イランの「サダコ」痛み共有

毒ガス被害女性参列



式典に参列したセドフルさん(手前左)らイランの毒ガス被害者や支援者

イラン・イラク戦争で、イラン人女性のチマンが六日、平和記念式典に毒ガス被害者の被害を受けたセドフルさんらと参列した。広島世界平和

大陽 中で一 無職者 時三三 事件で 本部は 遺棄者 人材派 習題者 前上 とイン サイト 持ち掛 にもサ 学生ら で呼び 捨てた 捜査上 ら、世

ミッシェンのイラン訪問だ。呼吸不全で小学五年を契機に始まった交流。までしか学校に通えなかつた。随分にはマスタートッド。活動法人(NPO法人)が受け入れた。

セドフルさんは、一級子のおお初めの市街地攻撃で毒ガスを浴びた。なをらえて、支援団体の

人たちが「イラン・サダコ」と呼ばれていた。式典には、一級に平日の水泡あとが大きく残ったほかの毒ガス被害者や支援者九人と参加。こども代表の「平和への誓い」を身を乗り出して聴

いていた。「被害者と同じ席して痛みを分かち合うことができた」。十日まで滞在し、市民や大久野島毒ガス被害者らと交流する。